

連絡会加盟学協会等における女性比率及び活動の年次推移に関する調査(2006.9.8)

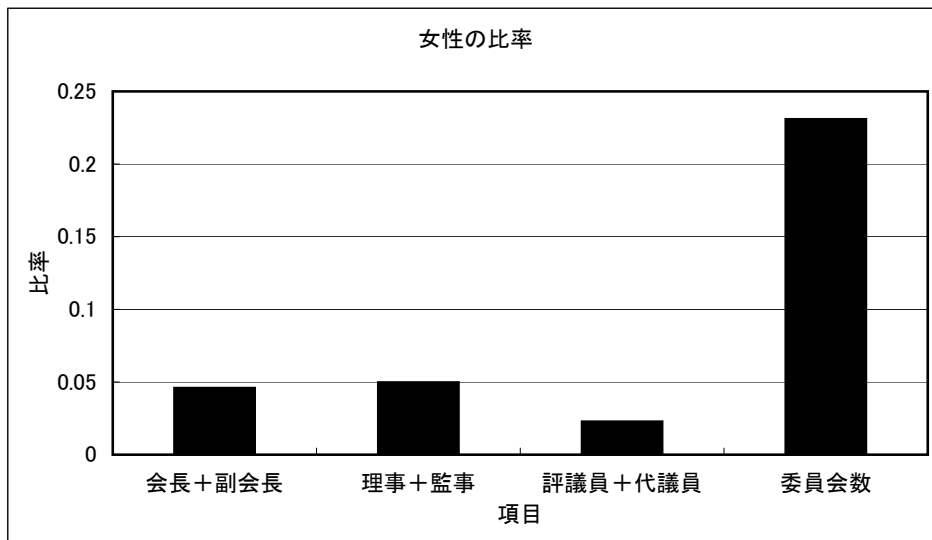
1 女性比率調査

2006.9.8時点の、会長、副会長、理事、監事、評議員、代議員の女性比率、女性委員のいる委員会比率、各種委員会の女性委員の比率の調査結果を下の表にまとめた。

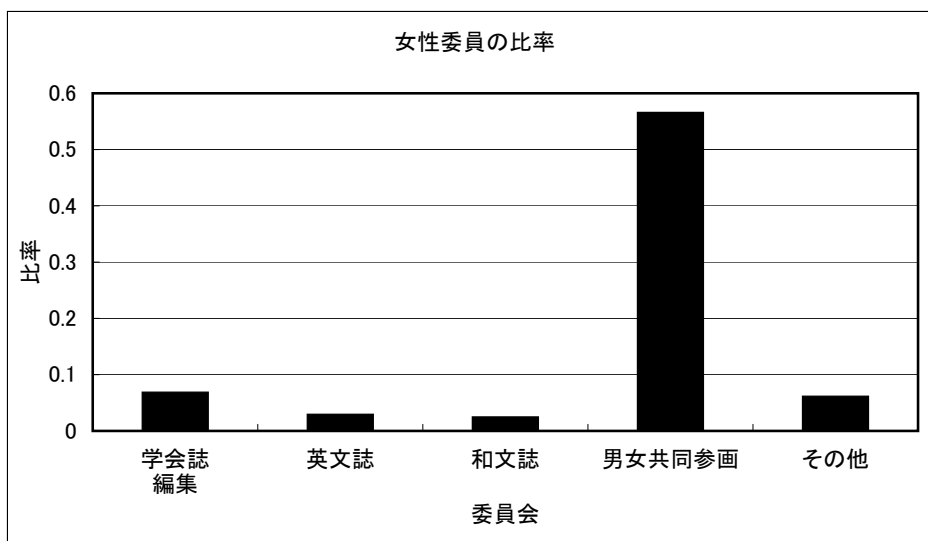
学協会名	会長 +副会長	理事 +監事	評議員 +代議員	女性委員のいる委員会数	委員会の女性委員比率					備考
					学会誌 編集	英文 論文誌 編集	和文 論文誌 編集	男女 共同 参画	その他委員会 (委員会数)	
日本分子生物学会	0/1	0/8	3/28	3/4				9/15	2/17(3)	昨年の調査資料を参考。役員名や委員会名が異なる場合など。昨年の調査資料を参考。役員名や委員会名が異なる場合など。理事/幹事の数は、幹事6名+会計監査2名とした。
日本動物学会	0/1	2/20	2/33	5/6		0/6		12/15	20/51(6)	
日本生理学会	0/3	4/35		9/12	5/22	0/18		4/8	8/77(9)	
日本植物学会	0/1	0/16	2/128	6/7		4/41			6/23(5)	昨年の調査資料を参考。役員名や委員会名が異なる場合など。
日本生態学会	0/2	2/5	4/22	12/15		5/51	5/30	2/16	28/197(12)	評議員の職務は全国委員が担当。男女共同参画は将来計画委員会が、所管/副会長は次期会長予定者。
日本育種学会	0/2	3/50		0/4		0/30	0/25		0/12	昨年の調査資料を参考。役員名や委員会名が異なる場合など。
日本バクテリア学会	0/1	1/17	2/39	3/12	1/5	1/7		2/3	0/39(9)	1人が複数の委員会委員を兼務しているため、延べ人数で表しています
日本比較内分泌学会	0/1	1/22		3/9	1/11	0/2		2/4	5/46(9)	代議員、理事なし。会長、幹事、監事からなっている。
日本生物物理学会	0/4	4/17	5/52	6/7	0/9	1/31	1/16	3/7	4/124(1)	理事/監事は、運営委員、代議員は学会委員の比率を記入
蛋白質科学会	1/3	4/24						2/5		学会内委員会に現在、男女共同参画のみ
日本森林学会	0/3	4/30※	11/48	5/5	1/17	1/29	2/19	4/9	3/10(1)	※理事(1/20)+幹事(3/10)。当学会では幹事は主事に相当します
日本原生動物学会	1/1		1/14	1/1	2/8	2/8	2/8			委員会は編集委員会のみ
日本発生生物学会	0/1	0/0	2/15	2/2	0/0	2/29	0/0	7/11	2/15(1)	
日本天文学会	0/3	1/15	0/20	4/15	1/10	0/10		3/5	5/83(12)	
地球電磁気・地球惑星圏学会	0/2	0/0	3/26	3/4		0/6		6/10	5/39(2)	注) 代議員は運営委員に読み替え。また、男女共同参画はWG。
日本地球惑星科学連合	0/0		1/66	4/7				11/23		正副会長は評議員会・運営会議議長で代える。学会連合であり、委員会構成が通常と異なっている
日本化学会	0/7	1/24	5/330	5/31	6/49	0/62	なし	9/14		理事/監事は、運営委員、代議員は学会委員の比率を記入
高分子学会	0/5	1/32	1/234	6/12	1/27	1/17	0/11	4/7	4/77(8)	
電気化学会	0/5	3/29	4/67	6/11	3/33				10/12(10)	昨年の調査資料を参考。役員名や委員会名が異なる場合など。
化学工学会	0/4	1/26	1/260	2/32	3/38	0/31*		4/7	0/369(29)	*英文誌と和文誌の委員会は面談合わせて一つ
日本数学会	0/1	0/15	5/104	2/14	2/45	0/15		2/4		
日本物理学会	1/2	1/18	6/144	11/19	1/35	3/55		6/12	12/161(16)	2005年9月～2006年8月31日
応用物理学会	1/3	0/24	16/226	12/18	1/41	3/141		21/31	12/202(15)	2006年3月から人材育成・男女共同参画委員会に改称、会長から前委員会に女性委員をおくことを要請。次年度に向けて取り組み中
日本建築学会	0/6	2/29	2/120	—	3/20	0/19	1/33	—	458/6844(9)	そのほかの委員会の「まとめて数値化」については、女性のいない委員会の委員数も含む。
土木学会	0/6	1/28	—	19/75	12/60	—	—	5/5	23/516(17)	昨年の調査資料を参考。男女共同参画の委員については今後増員の予定。
地盤工学会	0/4	0/26	6/127	9/81	5/56	1/25	0/10		7/106(7)	
日本火災学会	0/2	1/21	*	8/27	0/16	委員会 未設置	0/6	委員会 未設置	13/231(25)	評議員、代議員とも設置されておりません。昨年度のデータは、専門委員会、小委員会、時限委員会を含んでおりません。今回の回答には、これらの委員会も全て含めております。尚、(5)-5その他の委員会の「まとめて数値化」については、女性のいない委員会の委員数も含んだ数字を示しました。
日本データベース学会	1/4	1/16	3/26	4/7	*	0/11	0/11	1/3	3/51(7)	※学会誌編集委員会は、学会ホームページと会員全員を網羅するメーリングリストに流す情報でカバーすることとして、設置していない。※和文・英文の区別はせず、論文誌編集委員会として
電子情報通信学会	0/5	2/22	8/238	20/33	4/71	7/194	3/131	12/15	15/212(13)	
日本原子力学会	0/4	1/16	0/106	9/19	1/35	3/55		6/12	12/161(16)	昨年の調査資料を参考。役員名や委員会名が異なる場合など。※委員数/委員会数には、代議員および専門委員会は含まず。※学会誌・英文論文誌・和文論文誌は刊行しているが、委員会はそれぞれに分かれていない。
日本金属学会	0/4	0/31	0/230	3/16	3/72	0/141	0/141	7/13		昨年の調査資料を参考。役員名や委員会名が異なる場合など。
応用磁気学会	0/3	0/9	0/25	2/5	1/70	—*		4/7	—	昨年の調査資料を参考。役員名や委員会名が異なる場合など。*英文誌と和文誌の委員会は面談合わせて一つ
日本機械学会	0/5	0/21	2/768	15/57	1/22	0/30	0/30	0/0		代議員は支部商議員
日本鉄鋼協会	0/3	0/32	2/280	6/56	0/19	0/44	0/44	2/4※	7/111(6)	代議員=理事・監事+評議員。※準備会
自動車技術会	0/2	0/48	0/189	8/104	1/25	0/18	0/15	—	11/1157(8)	
石油学会	0/6	0/54	0/230	6/124	0/41	0/23			8/2(6)	注) 代議員は正会員に読み替え。

前ページの表の数値より、以下の2つのグラフを作成した。

次のグラフは、会長+副会長、理事+監事、評議員+代議員の女性比率と女性のいる委員会数の比率である。絶対数によりそれぞれの比率は会長+副会長は5/108、理事+監事は41/818、評議員+代議員は97/4185、女性委員のいる委員会数は213/921である。

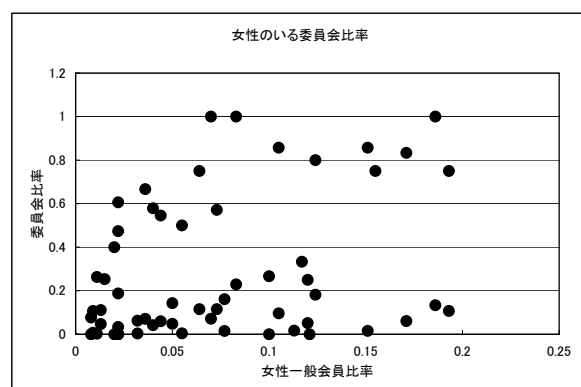
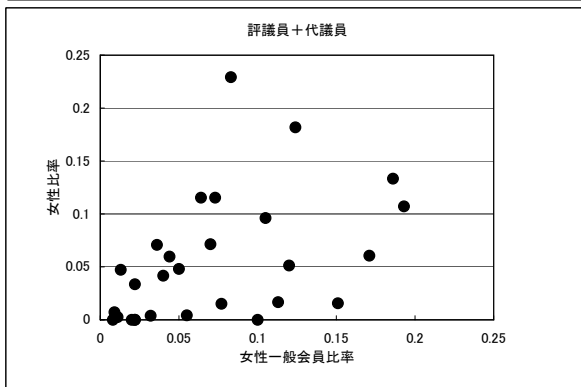
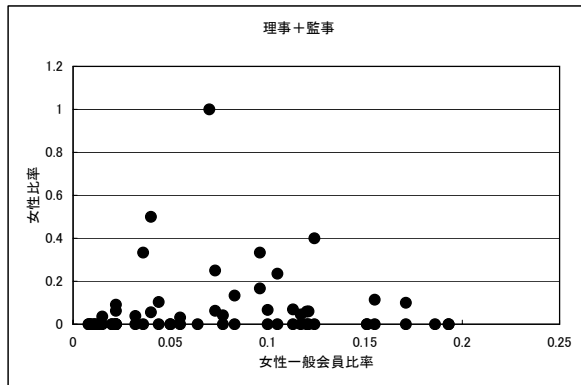
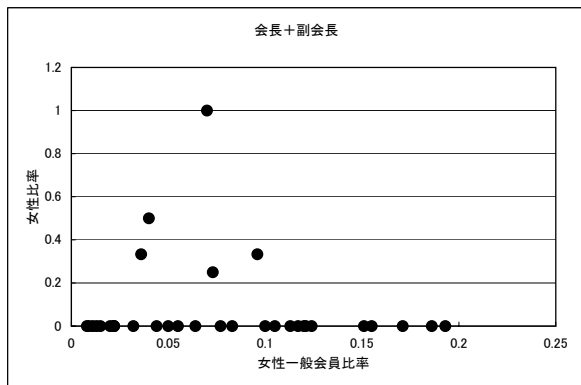


次のグラフは、学会誌、英文誌、和文誌各編集委員会、男女共同参画委員会及びその他の各委員会における女性委員の比率である。絶対数によるそれぞれの比率は、学会誌は59/875、英文誌は34/1149、和文誌は14/561、男女共同参画は150/265、その他は675/10943である。

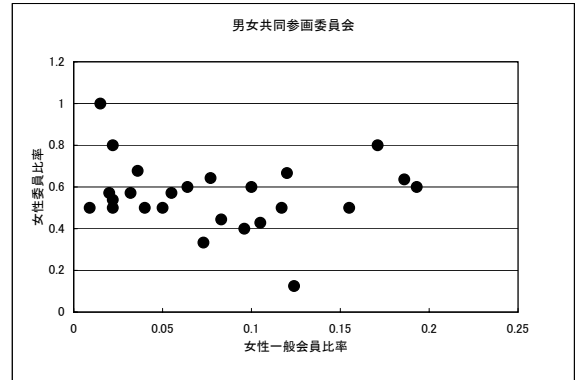
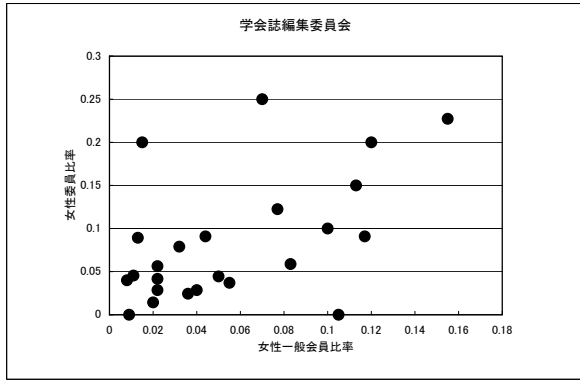
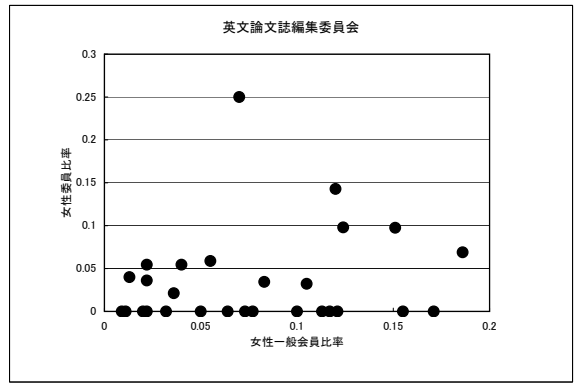
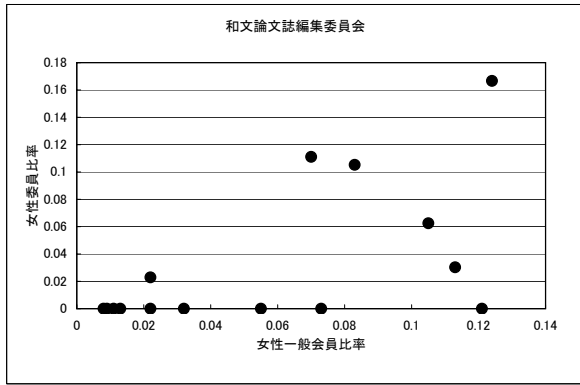


※グラフ作成に当たっては、表の数値より算出したが、グラフの解釈に際しては、各学協会における会長等の職名や職種について若干の差異があること、及び、団体の大きさに違いがあることに注意する必要がある。

次の4つのグラフは、各学協会に関する、会長+副会長、理事+監事、評議員+代議員における女性比率及び女性のいる委員会比率の、女性一般会員比率に対する散布図である。会長+副会長以外では若干の正の相関が認められる。



次の4つのグラフは、各学協会の関する、学会誌編集委員会、英文論文誌編集委員会、和文論文編集委員会および男女共同参画委員会における女性委員の比率の、女性一般会員比率に対する散布図である。3つの編集委員会においては、女性一般会員比率と若干ではあるが正の相関が認められるが、男女共同参画委員会の女性比率は、女性一般会員比率にほとんど依存しないことが分かる。

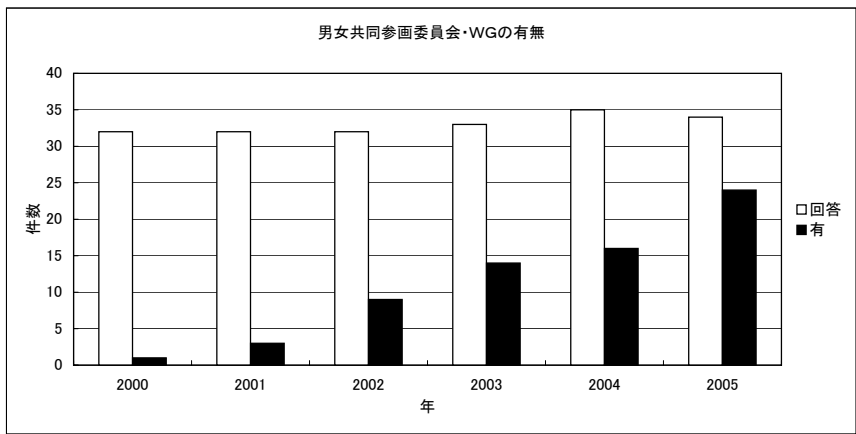


2 活動の年次推移調査

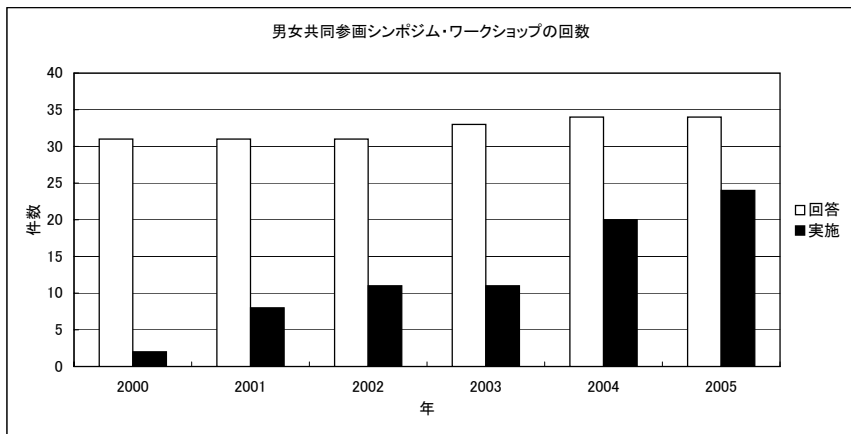
2002年10月7日、男女共同参画学協会連絡会設立を境に、連絡会加盟学協会等が行った活動の年次推移を調査した。項目は(1)男女共同参画委員会・WGの有無、(2)男女共同参画シンポジウム・ワークショップの回数、(3)年会(学会)会期中の保育所利用者延べ人数とした。調査結果を下の表及び次ページのグラフにまとめた。

学協会名	男女共同参画委員会・WGの有無 (有:1, 無:0)						男女共同参画シンポジウム・ワークショップの回数						年会(学会)会期中の保育所利用者延べ人数						備考				
	年度						年度						年度										
	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2000	2001	2002	2003		2004	2005	2006	
日本分子生物学会	0	0	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	2	0	34	45	32	81	56	?		
日本動物学会	0	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	31	32	53	54	55	?		
日本生理学会	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	なし	なし	不明	23	26	27	19		
日本植物学会	0	0	0	0	0			0	0	1	1	1			なし	不明	1	不明	0			保育所の設置は2002年から。2002年と2004年は契約した保育所に利用者が直接申し込めたため人数が不明。	
日本生態学会	0	0	0	0	0	1		0	0	0	0	0	0	0	?	?	?	?	20	24		2004年度は2大会の合計、?は託児室は設置されたが人数が不明	
日本育種学会	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	?	0	0	0		2002年の会期中には保育室を設けましたが、利用者数は不明です。それ以外では保育室を設置していません。	
日本ベイトンク学会	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
日本比較内分泌学会	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0		
日本生物物理学会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	15	12	14	12	16			
蛋白質科学会	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	2	0		
日本森林学会	0	0	0	0	0	1		0	0	0	0	0	0	0	6*	14	3*	3*	無記録	0		*延べ人数ではない	
日本発生生物学会	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	20	0	10	12	*2004年は、託児所を設置しましたが利用者がいませんでした。
日本原生動物学会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
日本化学会	0	0	1	1	1	1	0	0	0	2	1	1	1	1	0	11	6	12	10	5	6		
高分子学会	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2*			**	**	5	3	*予定、**利用者数記録なし	
電気化学会	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
化学工学会	0	0	0	1	1	1		0	0	0	0	2	4		0	0	0	0	0	0			
日本数学会	0	0	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	延べ人数記載なし
日本物理学会	0	1	1	1	1	1	1*	4*	2*	1*	2*	4*			20	39	62	48	20			*1インフォーマルミーティング女性物理学者の会(を含む) 講演会座長への託児室利用料支援(2006秋より)	
応用物理学会	0	1	1	1	1	1	1	0	2	2	2	2	2	2	3*	*	*	*	10	9			
日本建築学会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*	5	14	8	*設置せず	
土木学会	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	保育室設置なし	
地盤工学会	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	0	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	保育室設置なし	
日本火災学会	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		保育室設置経験なし	
日本データベース学会	0	0	0	0	0	1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
電子情報通信学会	0	0	0	1	1	1	-	-	-	-	1	1	0	-	-	-	-	-	-	3			
日本原子力学会	0	0	1	1	1	1		0	0	0	0	1	2		*	*	*	*	*	*		*原子力学会は保育室の設置なし	
日本金属学会	0	0	0	1	1	1		0	0	0	0	2	1		0	0	0	0	0	3			
応用磁気学会	-	-	-	-	0	1	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0		
日本機械学会	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-			
日本鉄鋼協会	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
自動車技術会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	※	※	※	※	※	※	※男女別利用者数記録なし。	
石油学会	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0								保育室設置なし	
地球電磁気・地球惑星圏学会	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	9	※11	保育室設置は2005年度から。利用数は子供の数。※2006年度は予定数。
日本地球惑星科学連合	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0								
日本天文学会	0	0	0	0	0	1		0	0	0	0	0	0	0	5	16	24	15	28	37		天文学会の年会時の保育室設置は1997年です	

前ページの表の数値より、以下の3つのグラフを作成した。ただし、2006年度に関するデータは、シンポジウム等、今後実施予定のものが含まれているのでグラフ作成には使用しなかった。  
 次のグラフは、男女共同参画委員会・WGに関するものであり、黒は学協会を単位とする回答の件数であり、白は”有”の件数である。従って、回答の件数から”有”の件数を引いたものが”無”の件数となる。



次のグラフは、男女共同参画シンポジウム・ワークショップの回数に関するものであり、黒は学協会を単位とする回答の件数であり、白はシンポジウム等の実施回数である。一つの学協会が一年に複数回のシンポジウムを実施した場合も含んでいる。



次のグラフは、年会（学会）期間中の保育所利用者延べ人数に関するものである。35の学協会からの回答があったが、利用者の記録がない場合や、延べ人数ではない場合を含んでいるので、実際の利用者数は、グラフに示された数値より高くなる。

